

学校教育目標	「自ら学び やさしい心で たくましく生きる 子ども」				
	【健康な心とからだをもち、自分も友達も大切にしながら、 自らの言葉で伝え、行動できるたくましい子どもを育てます。】				
学校概要	創立 26 周年	学校長 榊原一紀	副校長 青柳英樹	2 学期制	一般学級：15 個別支援学級：3
	児童生徒数： 459 人	主な関係校： 富岡中・富岡小・西富岡小・能見台小・金沢中・釜利谷東小・八景小・文庫小・金沢小			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	富岡中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自ら学ぶ力」 「表現力」 「他者意識」	富岡中学校 能見台南小学校 能見台小学校 富岡小学校 西富岡小学校	『TWO YOU』 優・・・「自己にも他者にも思いやりのある子」 勇・・・「未来を見すえ、一步踏み出し、表現できる子」 ・『TWO YOU』をテーマとした2回のブロック合同授業研究会を行い、育てる子ども像の共通理解を図ったり、指導の在り方について検討したりする。 ・小学校運動会への中学生ボランティア参加や児童生徒交流日など、児童と生徒の交流に積極的に取り組む。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性や表現力のある子を育てることをめざし、分かる授業を展開する ・人権教育をとおして、自分も周りも大切にすることを育みます。 ・健康教育を通して、運動と食の大切さと自分の健康を大切にする子の育成に努めます。 ・地域社会とつながり、自立した子の育成に努めます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①資質能力を明確にした授業づくりをおこなう。②授業のゴールを明確にして、分かる授業を進める。③めあてと振り返りを大切に、主体的な学習を進める④成功体験を感じる評価場面を意図的に作るようにする。⑤表現力を育てるために、発表の場や語彙力を増やす。⑥重点研究を通して、主体性や表現力の育成を図る。
徳	人権教育	①規範意識を日々伝え指導していく。②あいさつが交わる雰囲気をつくる。③多様性や認め合う子ことを育てるために、なかよし活動(縦割り)や学級活動の充実。④いじめのない学級作り。⑤道徳教育を充実させ、認め合える力を育てる。
体	健康教育	①定期的な集会を通して、運動する機会を設定する。②研修等を通して、楽しい体育学習を進める。③健康の大切さを理解するために、授業や学校保健委員会の充実をはかる。④特別活動や総合学習を通して、食の大切さを知る場面を作る。⑤情報発信を通して基本的な生活の大切さについて、家庭との連携を進める。
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①自分づくりパスポートを活用する。②自分の成長を様々な場面で振り返り、自己肯定感を育てる。③まちの材を学習活動に取り入れることで、能見台の地域とつながる。④横浜の時間では地域の人などと関わり、体験的に学ぶ場面を取り入れる。
いじめへの対応		①学年を中心に情報交換を密に行うとともに、定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知案件の経過確認を行う。②生活アンケートを行い、児童の困り感や変化に気づくようにする。③いじめの起きにくい学校風土をつくるため、横浜プログラムを行う。
人材育成・ 組織運営(働き方)		①6年次までの教諭でメンターチームを組織し、実践研修等の活動を月1回以上継続的に行う。②授業を伴う研究会及び学年やブロックの横のつながりを意識した一実践の取組を通して、授業力向上を図る。③持続可能な働き方を目指し、検討を行い実践へつなげていく。
特別支援教育		①ユニバーサルデザインの視点に基づく授業を推進する。②一般学級と個別支援学級の情報交換を密にとり効果的な交流を行う。③発達特性やその効果的なかわりについて研修会を実施し、教職員の理解と実践力を高める。
安全管理		①授業中の事故防止のために職員研修を行う。(体育、家庭科、図工等)②児童に安全な過ごし方(廊下の歩き方、雨の日の過ごし方等)を日ごろから指導するとともに、安全に関する研修(シャッター、不審者侵入等)を行う。
情報教育		①タブレットの正しい使い方について学校のルールを明確にし、実行していく。②ロイノートを活用した実践を行い、より良い学習活動を進めていく。③研修等を通して、情報教育について研究を深め、情報モラル等の課題について指導を行っていく。
担当		